



難聴の程度と聞こえ方

難聴の程度は測定した聴力レベルに応じて、以下の様に分類されています。

重度難聴 ▶聴力レベルが 90dB 以上 生活音や耳元での大声がほとんど聞こえない。 補聴器*の効果が少ない、人工内耳の適応である。	身体障害者 手帳の対象
高度難聴 ▶聴力レベルが 70-90dB 耳元での大きめの声は聞こえる。 補聴器*がないと向かい合っでの会話でも難しい。	身体障害者 手帳の対象
中等度難聴 ▶聴力レベルが 40-70dB 近くでの大きめの会話は可能。補聴器*使用が必須になる。 聞き誤りが増え、特に雑音下での聞き取りは困難。	補聴器購入の 助成制度あり
軽度難聴 ▶聴力レベルが 25-40dB 対面の会話可能。 小さな声、騒音下、グループの会話での聞き誤りや聞き逃しがある。	補聴器購入の 助成制度あり
正 常 ▶聴力レベルが 25dB 以下 小さな音やささやき声も聞こえます。	

*感音難聴の場合、音が歪んで聞こえるため、補聴器の効果が得られにくいことがあります。

一側性難聴（片耳難聴）▶片方の耳が聞こえづらい

難聴耳側から話しかけられると聞き取りにくい事や、雑音下での会話が難しい事があります。
また音や声の方向を判断することが難しい事があります。